つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 482-0097
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

初詣に訪れる参拝者（1月1日）

壬辰と妊娠

平成二十四年壬辰（みずのえたつ）歳、今年は天候も良く穏やかな新年となった。

元旦から大勢の参拝者が訪れ、大神様にそれぞれの家内安全を始めとする様々な祈願をされたことであろう。

拝殿へ続く参拝者の列は、昼過ぎまで切れる事無く随神門の外まで続き、過去最多の参拝者数を更新した。

今年は、壬辰（みずのえたつ）歳である。「壬辰」は共に偏（へん）に「女」を付けると「妊娠」という字になる。

妊娠は言うまでもなく、女性が子供を身ごもる事である。生命誕生には、解明し難いメカニズムがあるため、古来の人々はこの神秘性に神を重ね合わせて、子宮や産道（参道）などの名称を付けて、生命の誕生に神と同様の畏怖（いふ）を感じ取っていたのであろう。

今年も既に半年が過ぎようとしているが、「妊娠」の年にあやかり、生命が誕生するように、氏神様の大御心を体して氏子の皆様方の心に、明日への希望の光が点る事を念じる次第である。

神社と神木

古来、我々の祖先は海川山野のあらゆる自然を神として拝し、あるいはこれらに神が宿ると感じて敬い、感謝を捧げ、畏んできた。

そして神が鎮まり坐す神社を包む森は、境内の景観を保ち信仰の礎となることは、地域の人々の暮らしに憩いと恵みをもたらしてきた歴史を有する。

この度、國學院大学研究開発推進機構と神社本庁の共同事業として、神社の御神木の調査を行った。

その調査結果は次の通りであった。

①神木の樹種

樹種	神社数	樹種	神社数
スギ	三二五	マツ	三〇
クス	一八三	サカキ	二四
イチョウ	一〇五	アカガシ	二一
ケヤキ	一〇一	モミ	一七
ヒノキ	五四	コナラ	一七
シイ	五一	サクラ	一七

◆調査神社は一〇二八社。樹種の複数回答あり。

②御縁木等の樹種

樹種	神社数	樹種	神社数
スギ	二三六	ヒノキ	五九
クス	一六六	マツ	五五
イチョウ	一〇一	サクラ	四六
ケヤキ	九五	コナラ	三八
シイ	七一	タブノキ	三五
アカガシ	六〇	モミ	三四

◆調査神社は八九七社。樹種の複数回答あり。

③境内林を構成する樹種

樹種	神社数	樹種	神社数
スギ	一三四六	アカガシ	四二二
サクラ	八七七	ツバキ	四〇〇
サカキ	八二四	マツ	三九四
ヒノキ	六九三	カエデ	三七三
クス	六一三	ケヤキ	三七二
シイ	四二四	イチョウ	三三二

◆調査神社は二〇四九社。樹種の複数回答あり。

④玉串に使用する樹種

樹種	神社数	樹種	神社数
サカキ	一八四五	ヒバ	五六
ヒサカキ	一八〇	ヒノキ	四七
イチイ	五六	ソヨゴ	二二

◆調査神社は二〇四七社。樹種の複数回答あり。

⑤サカキ以外の樹種を玉串に用いる理由

◆調査神社は二〇四七社

◆サカキが生育しない・少ない。

関東一二、北海道一九、東北二八、中部二二、北陸三、近畿一、中国四、沖縄一

九〇社中、寒冷地（高地、豪雪地）であることを明確な理由とするもの七七社。

当社の御神木は「アクラ」である。拝殿の東隅に生えており、目通り直径二一〇センチの堂々とした大木である。

幹にはシダや苔が生え、秋には赤い小さな実が付き、冬の小鳥の餌となる。

神道Q&A

【質問】

お稲荷さんにお参りすると、必ず朱塗りの鳥居とキツネの置物がありますが、稲荷神社との関係について教えて下さい。

【答え】

稲荷神社は、農村部では五穀豊穣（ごこくほうじょう）を祈る農業神として、また都市部では商売繁盛や病気平癒（へいゆ）などの神様として庶民の篤（あつ）い崇敬を受けています。

さて、稲荷神社の社頭には、崇敬者から奉納された鳥居が幾重にもわたり建てられていることがあり、殆どが朱塗りの鳥居です。

朱色は生命の躍動を現すとともに、古来災厄を防ぐ色としても重視されてきました。

このため古くは御殿や神社の社殿などに多く用いられており、稲荷神社の鳥居の朱色もこの影響によるものと考えられます。

一方、狐を稲荷神のお使いとすることですが、これは稲荷神の農耕神としての性格と関連するものと考えられます。

この信仰は「イナリ」の語源を「イネナリ」の略とするなど、田の神に対する信仰と深く結びついたものでした。

田の神の信仰は当然のことながら、食物神でもある「宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）」と繋がり、稲の稔りの季節が近くなると、山から人里近くに現れるようになる狐の姿を、人々が神聖なものとして捉えたことによると考えられます。

稲荷神社に狛犬代わりに置かれる狐

狐は稲の豊穣をもたらす山の神のお使いであり、山の神は里に降りては田の神となるため、狐は田の神である稲荷神のお使いということになるわけです。

後には、食物神の総称ともいえる「御食津神（みけつかみ）」が「三狐津神（みけつかみ）」と記述されるなど狐神に通ずることが一般に語られることからも、稲荷神と狐の結び付きが連想されます。

このほかにも、春日の鹿や日吉の猿など多くの動物が神のお使いとされており、こうしたことは自然との共存を大切に考えてきた日本人の信仰によるものといえます。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております。

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒・その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・神葬祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

水墨画展開催

当社の禰宜である太田正和氏が平成七年から始めた水墨画が、笠岡市美術展の委嘱資格（実施年度から五年間遡り、市美展入賞歴十五点以上を取得した者に授与される）を取得したのを記念して、今まで描きためた数十点の作品を、新しい拝殿において展示し、氏子の皆さまにもご覧いただこうと、水墨画展を開催することに致しました。

笠岡市長賞を始めとする数々の受賞作品の中には当社の社殿を描いたものもあり、雪景色などの原風景は心に染みいるものがあります。

この水墨画展は次の通り開催致しますので、この機会にご鑑賞下さいますようご案内申し上げます。

記

一、展示場所　鶴崎神社 拝殿
（鑑賞される方は昇殿自由です。）

二、展示期間　五月十九日（八幡神社春季大祭）～六月三十日まで

力士（平成18年作）

役員・総代の変更

今春、一部の地区の事情により総代が交替されたために、四月十五日開催の総代会に於いて承認並びに選任し、新たな責任役員と総代が就任致しましたので、お知らせ致します。

責任役員　安原　益重（早高北）
責任役員　渡邉　武志（長津）
責任役員　船越　猛（頓行・小浜）

総代　河合　陽一（船本）
総代　亀山　秀明（前潟）
総代　今田　陸利（弁才天）
総代　横山　敏和（下前潟・久々原・三軒地）
総代　原田　典子（帯高三丁割）

祭事暦

五月十九日（土）［午後七時］
八幡神社春季大祭（露店あり）
五月二十日（日）［午前十時］
【供膳祭】
七月三十日（月）［午後五時］
夏越祭【輪くぐり祭】（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭
※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。